

(様式 1-3)

## 仙台市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 28 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	66	事業名	東部復興道路整備事業 ((一) 荒浜原町線)	事業番号	D-1-3
交付団体	仙台市		事業実施主体 (直接/間接)	仙台市 (直接)	
総交付対象事業費	185,000 (千円)		全体事業費	835,000 (千円)	
事業概要					
(目的)					
大津波発生時に、沿岸地域から内陸部へ、車や人の避難にも配慮した避難路の整備を行う。具体的には、かさ上げを行う県道塩釜亘理線等と接続し、東西の避難路となる一般県道荒浜原町線について、拡幅整備を行い、車による円滑な避難を可能とする。					
(事業概要)					
・ 整備延長 約 2.2 km					
・ 幅員 10.5 m ~ 15.0 m					
(事業費)					
835,000 千円					
(予算措置状況)					
平成 28 年度予算で対応					
(本市復興計画における記載)					
II-1 (「津波から命を守る」津波防災・住まい再建プロジェクト) (11 ページ)					
・ 津波から避難するための丘や建物等の避難施設や、車による避難にも配慮した道路の整備、仙台東部道路の緊急避難場所としての活用など、津波から逃げ、市民の命を守るための施設を、集落等の状況を勘案しながら複層的に確保します。					
(事業間流用による経費の変更) (平成 27 年 10 月 14 日)					
当該避難道路について、前回申請 (第 8 次申請) 後の物価等上昇や詳細設計により、工事費が増額したため、D-4-9 災害公営住宅整備事業 (公営住宅整備事業) ⑨荒井駅周辺地区より 150,000 千円 (国費: H24 予算 116,250 千円) を流用する。これにより、交付対象事業費は 185,000 千円 (国費: 143,375 千円) から 335,000 千円 (国費: 259,625 千円) に増額となる。					
(事業間流用による経費の変更) (平成 28 年 5 月 18 日)					
当該避難道路について、D-4-9 災害公営住宅整備事業 (公営住宅整備事業) ⑨荒井駅周辺地区より 240,000 千円 (国費: H24 予算 186,000 千円) を流用する。これにより、交付対象事業費は 335,000 千円 (国費: 259,625 千円) から 575,000 千円 (国費: 445,625 千円) に増額となる。					
当面の事業概要					
<平成 25 年度> 事業費: 67,000 千円					
事業内容: 地質調査、詳細設計、路線測量、用地測量					
<平成 26 年度> 事業費: 118,000 千円					
事業内容: 用地補償、物件調査					
東日本大震災の被害との関係					
東日本大震災の際に、渋滞などのために、車による避難の途中で津波に襲われ、命を落とす事例が多数生じたことから、車による効果的な避難を可能とする道路整備を行う必要がある。					
関連する災害復旧事業の概要					
今回、東西の避難路として位置付けた 3 路線については、災害復旧工事を実施し、平成 24 年度に完了している。					
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

